

教育民生所管

〔質疑〕子ども医療費助成について、今回中学3年までの入院分について医療費助成が拡大されると思うが、拡大される部分として、何人ぐらいを見込んで予算を計上したのか。

〔答弁〕子ども医療費の対象は小学1年生から中学3年生までの2千739人、助成額は2千353万8千円ほどを見込んでいる。

総務財政所管

〔質疑〕宮城県市町村共同電子申請サービス負担金について、これは県で24市町が行っている電子の申請だと思っが、本市においてはどのくらい活用されているのか。

〔答弁〕市町村の共同電子申請サービス負担金については、白石市では現在、2業務について運用している。

〔質疑〕24自治体の中では大変少ないほうで、もうちょっと活用したほうがいいのではないかと思う。例えば、住民票の交付から犬の死亡届、給水使用開始届け、また廃止・休止届け、変更届けなどを行っている自治体がある。こういったことにもう少し住民の利便性を考えて拡大していただきたいが、いかがか。

〔答弁〕確かに他市町村では白石市よりもっと多くの業務について運用を開始しているが、その自治体の計画があつてのことだと思つ。当市においては、それぞれ各課に照会をし、できる業務については実際にやっているというのが実態である。

〔質疑〕個人市民税の課税標準額が、前年度を上回っている理由について伺いたい。

〔答弁〕平成22年度の9月補正において減額補正をしたため、平成23年度の当初予算は、それらを見込んでかたい歳入

見込みをした。その結果として平成24年度において平成23年の申告実績を見ながら予算計上したため、前年度対比で増額の予算措置をしたということである。

〔質疑〕前年より、納税義務者を1万5千156人から1万5千119人と37人少なくな見積もつているが、課税標準額を増額して大丈夫なのか。

〔答弁〕平成23年度の申告等を見きわめた上で課税標準額を算出している。こういう経済状況なので見きわめにくい状況ではあるが、できるだけかたみに見積もつた中で今回の当初予算の計上額になったということをご理解いただきたい。

〔質疑〕23年度、24年度の人件費を比較すると、減額となっている理由は何か。

〔答弁〕職員数が23年度と比較し1人減になるためである。

〔質疑〕今後も職員数の減少傾向は数年あるいはもっと続いていくのか。

〔答弁〕定員適正化計画に基づいて、平成27年4月1日には360人という予定になっている。ここ数年の間に大量に退職者が出るという中で、退職者と新規採用を勘案しながら適正化計画を進めているところである。

〔質疑〕職員適正化計画というのは給与総額の金額に基づいているのか。それともこれぐらい仕事をするのに必要人数ということなのか。

〔答弁〕職員適正化計画については、それぞれの仕事の量というものを勘案しながら考えている。そのためにも職員のスキルアップというものを重点的に考えて研修等にも派遣している。

〔質疑〕歳入において、普通地方交付税を少なく見込んでいるのではないか。

〔答弁〕通常、歳入は多く見ていると、最終的に歳入欠陥ということにもなりかねないため、平成24年度においては、23年度当初で40億円と見てい

たが、それに2億円を足して42億円です算措置をしたということである。



〔質疑〕白石城復興の予算に関して全国から本当に多くあたたかい寄附金もいただいているが、どのような形の復旧計画を考えているのか。

また、復旧工事中、来場者を制限する計画はあるのか。
〔答弁〕白石城の復旧予算については、国に観光面あるいは文化財方面、生涯学習施設方面と色々な方面から挑戦して粘り強く交渉してきたが、現時点では非常に厳しい状況である。また、民間の支援策もかなり出てきているのでそ